

低周波減衰振動波試験器（減衰振動波イミュニティ試験）

# SWCS-900-1M

SWCS-900-1Mは電力規格B-402（2007）およびIEC 61000-4-18（Ed.1.0）（1MHzのみ）規格に準拠した減衰振動波イミュニティ試験をおこなう為の減衰振動波発生器です。

- 4-18（2006）規格に準拠した試験ができます。
- 最大3kVの電圧を出力し、余裕のある試験ができます。
- タッチパネルの採用で視認性に優れた設定画面。
- 試験器内部でCOMMONモード／NORMALモードの切替えや、印加相の切替ができます。
- 電源ラインCDN(AC240V/DC125V 20A)を内蔵しています。
- 大容量CDNを組み合わせることができます。（オプション）

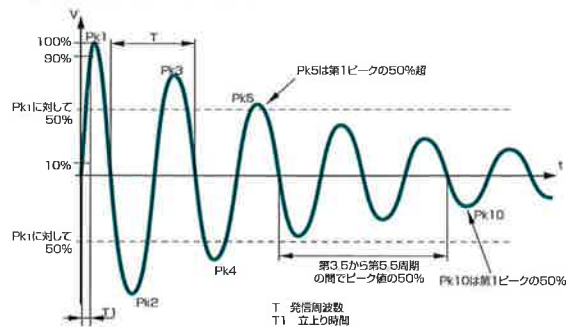


## 仕様

項目	仕様
出力波形	低周波減衰振動波（Slow Damped Oscillatory Wave） フローティング出力
出力電圧	250V～3000V ±10% 1Vステップ
短絡電流	1.25A～15A±20%
発振周波数	1MHz±10%
繰返し周波数	400 / 480 Hz±1% 400Hz=8回／商用周波数50Hzの1周期（非同期） 480Hz=9.6回／商用周波数50Hzの1周期（非同期） 400Hz=6.7回／商用周波数60Hzの1周期（非同期） 480Hz=8回／商用周波数60Hzの1周期（非同期）
電圧波形減衰率	第5ピークは第1ピークの50%超、第10ピークは第1ピークの50%未満 （第3.5から第5.5周期の間でピーク値の50%）
立ち上がり時間	75ns ±20%（10%～90%間）
出力インピーダンス	200Ω±20%
出力極性	正極性、または負極性
印加時間	1s～999s ±0.05s（1sステップ）及び連続
結合コンデンサ	0.5μF±20%
CDN電源容量	単相/三相AC240V20A もしくはDC125V20A
印加相	ノーマルモード L1 / L2 / L3 / N相間 コモンモード L1 / L2 / L3 / N相-PE間 L1,L2,L3相同時印加-PE間 L1,L2,L3,N相同時印加-PE間
減結合コイル	1.5mH以下
駆動電源	AC100V～240V ±10% 50/60Hz
消費電力	150VA 以下
動作温度範囲	15℃～35℃
外形寸法／質量	(W)430mm×(H)515mm×(D)500mm（突起部を含まず）／約 53 kg

## 出力波形イメージ

※下記波形はイメージです。



## ソフトウェア操作画面（イメージ）